

活動報告

(抜粋してのご報告になりますが、ご了承ください。)

- ◆10月 6日(月) 向東地区区長会から行政へ建設要望を行いました。
- ◆10月 6日(月) 尾道市議会第5回臨時会
- ◆10月14日(火) 尾道市議会決算特別委員会
～16日(木)
- ◆10月30日(木) 今治市議会・尾道市議会合同研修会
- ◆11月 7日(金) 尾道市議会庁舎整備調査特別委員会
- ◆11月16日(日) 尾道市PTA連合会教育フォーラムに参列しました。
- ◆11月20日(木) 尾道市議会庁舎整備調査特別委員会
- ◆11月29日(土) 尾道市青少年健全育成大会
- ◆11月30日(日) 高見山の森づくり体験の集いに参列しました。
- ◆12月 2日(火) 尾道市議会第6回定例会
～16日(火)
- ◆12月 5日(金) 尾道市議会庁舎整備調査特別委員会
- ◆12月 6日(土) 第7回地域教育実践交流集会in大洲で実践発表をしました。
～ 7日(日)
- ◆12月22日(月) 尾道市議会文教委員会市内視察
(向東小、向島中央小、因島南小建設現場、瀬戸田小、瀬戸田中)

公衆衛生の普及向上で表彰していただきました！

11月9日(日)、尾道市公衆衛生大会において、会長表彰を受けました。

地域社会の福祉増進で表彰していただきました！

11月18日(火)、尾道市社会福祉大会において、会長表彰を受けました。

☆第1回広島県ユネスコESD大賞 受賞！☆

11月22日(土)、
団長を務める“おのみち100km徒歩の旅”の活動を基に、
タイトル「感動が育む生きる力」でエントリーした映像が、
持続可能な社会づくりに寄与する活動として、
ESD映像特別賞を受賞し、表彰していただきました！



【柿本和彦後援会】

〒722-0062 尾道市向東町3301-1
Tel・Fax兼用(0848)41-9315 Fax(0848)44-6829
メールアドレス: info@k-kakimoto.com
ホームページURL: <http://k-kakimoto.com/>
ブログURL: <http://blog.k-kakimoto.com/>
ご意見等がございましたら、お気軽にお寄せください！



愛と志で誇りある未来を創造しよう！

かきもと かずひこ

柿本和彦後援会 会報 VOL.12

編集：柿本和彦後援会

平成27年 1月 1日発行

新年明けまして おめでとうございます

『一年の計は元旦にあり！』

いよいよ今春は、統一地方選挙です。

過去を反省し、未来を見つめ、

柿本和彦後援会のローカルマニフェストを再策定しました！

何が出来るのか？何をしなければならないのか？

“できるできないではなく、やるかやらないか”の精神で、

今年も皆様と共に走り続けて参ります。

皆様のご意見を柿本和彦後援会に

どうぞお寄せください！

よろしくお願い申し上げます。



地域の魅力を発掘！

少子化対策は、地方から！

地域創生で大切なことは、国の施策に期待し、見守るのではなく、

自分たちで地域の魅力を再発見することだと思います。

お上意識から脱却し、自分たちのまちは、自分たちで創る！

という気概を持つことが必要です。

先ずは、足元を再確認し、さまざまな角度から見つめ直すこと！

いつも見ている風景が絶景に観えたり、新たな発見があったり、

観方を変えると、魅力的な地域資源が見つかるはずですよ！

歴史的に思いがけない伝説があったり、ユニークな建造物だったり、

調査・分析をすれば、貴重な地域資源に気づくはずですよ！

次代に誇りある地域を残すのは、私たちの“今ここ”の実践です。

地域の魅力を発掘し、光を当てて、自慢の種にする！

そのことが、次代への大切な財産となり、交流人口の増加につながり、

定住者も増えるという好循環を生むことにつながるでしょう！

柿本和彦の活動報告

《2014(平成26)年10月~12月》

視察報告

◆ 10月1日(水)~2日(木)、会派で、長岡市と村上市を視察しました。

長岡市では、シティホールを視察しましたが、市庁舎とアリーナ、ナカドマ(屋根付き広場)が融合し、単なる業務を行う器ではなく、出会いや感動を創造する空間が、そこにはありました。

そして、村上市では、町屋を生かした取り組みを視察しましたが、観光カリスマである吉川真嗣さんから、直接、お話を伺うこともでき、まちづくりに対する熱い想いを聴かせていただきました。



◆ 文教委員会で、11月4日(火)~5日(水)、刈谷市教育委員会と兵庫県立舞子高等学校を視察しました。

刈谷市教育委員会では、児童生徒の“携帯電話使用取り組み状況”に関する視察でしたが、今回、使用制限のお願いを行ったことをきっかけとして、家庭において親子の会話が生まれたこと、そして、家庭でそれぞれのルールを決める取り組みがなされたことは、大きな成果だと思いました。

舞子高校では、防災教育についての取り組みや授業を参観させていただきました。阪神・淡路大震災の記憶を未来につなげるために環境防災科というユニークな教育課程を作られていましたが、授業や課外活動、また、ボランティア活動を通じて、問題発見・問題解決能力など、時代が求めている能力開発がされており、市民のリーダーとして活躍する人材育成を実践されていました。

12月定例会一般質問要旨

8つの大項目(24の小項目)で、質問をいたしました。
《抜粋して、ご報告します。》
※質問の項番は、通告原文のままです。

1. 人をつなぐまちづくり~携帯電話等の安全な利用について~
 - (1) スマホの利用状況に関するアンケート調査や取り組みは行われているか?
 - (2) 携帯電話等の使用制限に関するような取り組みを行う計画はあるか?
 - (4) 各家庭でルールを作るよう、保護者にアプローチすることが必要だと思うが、どのように考えるか?

答

小学校12校、中学校11校がアンケートを実施して、児童生徒や保護者への注意喚起に生かしているが、ルール作りを行っているのは長江中学校のみとなっている。来年度には、市内の小中学校における、共通のルール作りに取り組みうと考えている。

2. 未来へつなぐまちづくり~就学前教育について~
 - (4) 向東子ども園を設置して欲しいという要望があったが、どのように考えているか?

答

向東保育所と向東幼稚園を統合しての認定こども園設置については、平成29年度以降の中長期の再編計画の中に位置づけ、検討することにしてはいたが、現在、設置場所や敷地・建物の規模を含めた仕様等、設置に向けた課題の検討を行っている。

3. 未来へつなぐまちづくり~少子化及び若者の雇用について~
 - (2) 合計特殊出生率を上げるためには、未婚率を下げる取組みが有効だと考えるが、何か考えはあるか?
 - (3) 新たな工業団地や流通団地を造成するよう関係機関に働きかける考えはないか?

答

これまで民間に任せていた、若者の出会いの場の創出について、国や県並びに民間団体と連携し、市としても具体的施策を検討する。県の支援を受けることが出来なかった小規模な産業団地の整備に対する支援について、引き続き、県と協議の場を持ち、強く要望を続けていく。

4. 地域をつなぐまちづくり~空き家・廃屋対策について~
 - (1) 「空き家等の適正管理に関する条例」について、どのように考えているか?
 - (3) 老朽危険建物の除却に関して、エリアに関係なく助成制度を検討してはどうか?

答

11月19日、国において成立した「空家対策の推進に関する特別措置法」は、多くの自治体の条例に定められている内容を包含している。今後は、同法に基づいて、「本市の家等対策計画」を策定し、対策を行っていく。

5. 地域をつなぐまちづくり~向島島内の交通渋滞について~
 - (1) 向島島内の交通渋滞をどのように捉えているか? 解決に向けては何が必要になると考えているか?
 - (2) 「市道堤線道路改良事業」の道路供用までのスケジュールはどのようになっているか?

答

交通渋滞の延長は、朝、夕を中心に非常に長くなっており、大きな課題であると捉えている。向島から尾道大橋を通過する車両の大部分が、二番瀬交差点を通過する交通体系となっていることに加え、東西橋交差点の変形五差路も渋滞の要因と考えている。県道立花池田線や市道森金江奥線等の整備を進めてきたが、今後は、市道堤線の整備にも取り組む。現地での詳細な測量や地域の皆様への説明等を丁寧に行っていく。

6. 地域をつなぐまちづくり~鳥獣被害及び野犬対策について~
 - (1) イノシシ対策について、現在の助成制度以外に、何らかの施策を講ずる考えはあるか?
 - (2) 野犬が減らない原因をどのように捉えているか?

答

地域から貸し出し要望の多い箱わなについては、追加購入を検討する。無責任なエサやり、飼い主による飼育放棄や放し飼い、避妊去勢手術の未実施等が原因である。

8. 未来へつなぐまちづくり~瀬戸内しまのわ2014について~
 - (2) 千光寺公園の展望台をどのような位置づけで考えているか?

答

中世以降の尾道の歴史・文化を形成してきた尾道水道を臨み、国内外の観光客はもとより、多くの市民に愛され親しまれている。しかし、築58年を経過し、老朽化も進んでいるので、高齢者にも優しく、夜間景観を含めた賑わい創出に繋がる魅力ある施設として、周辺を含めたりリニューアルを検討する必要があると考える。